

北摂から大阪、そして関西へ拡がる
女性研究者循環型育成クラスターへ

文部科学省科学技術人材育成費補助事業（平成 28 年度選定）
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）

地域に生き世界に伸びる 女性研究者の持続的な育成と 活躍推進に向けて

Creating a better future with innovation

未来を切り拓く男女協働

Open Governanceのもとに
一人ひとりの個性を輝かせる環境を実現

大阪大学総長
総括責任者
大阪男女協働推進連携協議会議長
西尾 章治郎



大阪大学、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所、ダイキン工業株式会社は、2016 年度（平成 28 年度）に文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」に採択されて以来、3機関で実施する取組に、大阪大学内に共同研究講座や協働研究所を置く関西有数の企業、研究機関、そして関西地域の国公立大学の協力を得て、ダイバーシティ実現のための連携を、北摂地域から大阪、関西へと発展させてきました。2021 年度までの事業実施期間において、これら連携する企業、大学、研究機関、地域の皆様とともに構築する「女性研究者循環型育成クラスター」の活動を牽引し、社会の期待に応え社会的価値の創出に挑む優秀な女性研究者の持続的な育成を展開します。皆様の一層のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



ダイバーシティ環境実現のための 共同宣言

2016 年 9 月 1 日

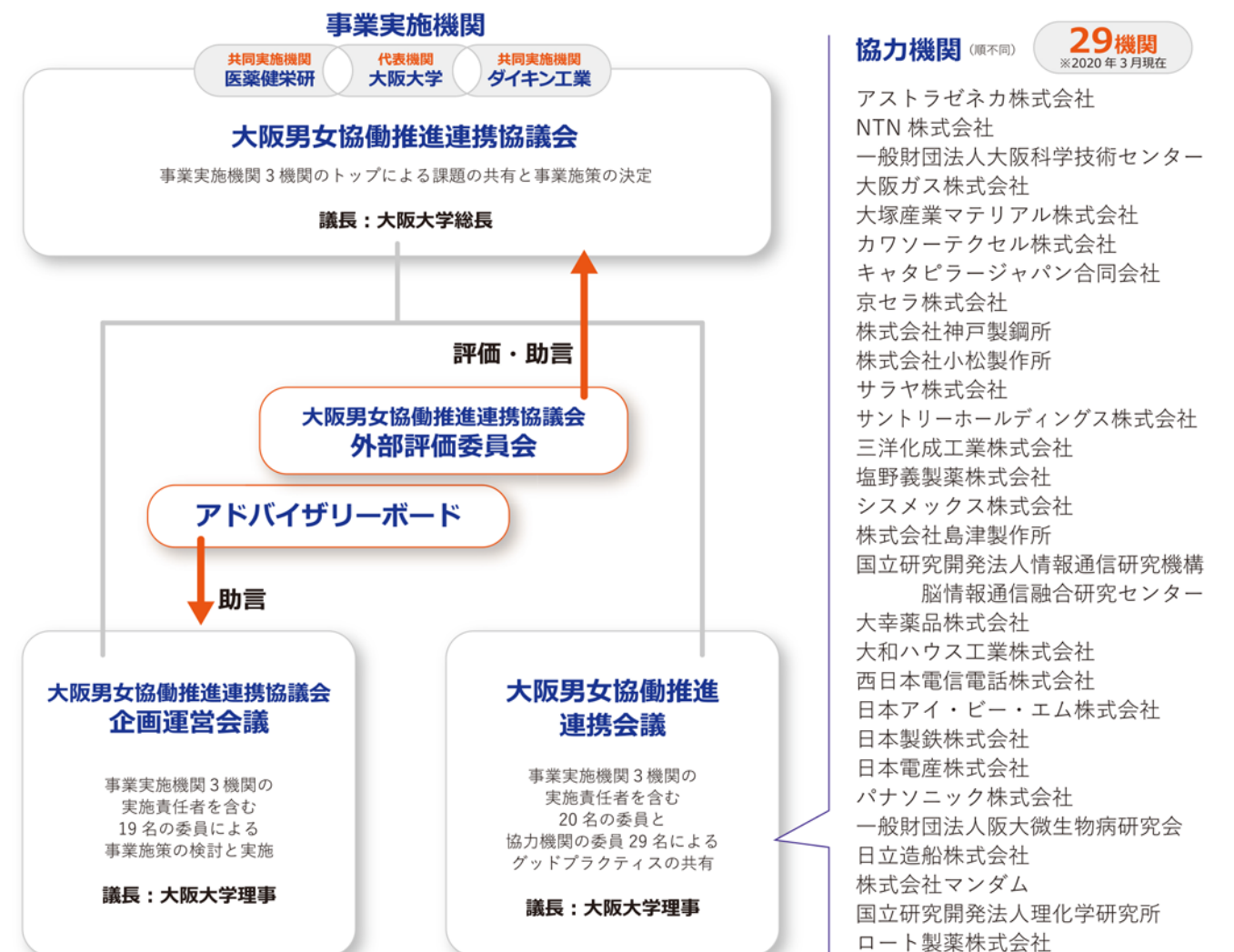
大阪大学総長 西尾 章治郎
国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事長 米田 悦啓
ダイキン工業株式会社取締役会長
兼グローバルグループ代表執行役員 井上 礼之

（写真左より）
井上ダイキン工業取締役会長兼グローバルグループ代表執行役員、
西尾大阪大学総長、米田医薬基盤・健康・栄養研究所理事長

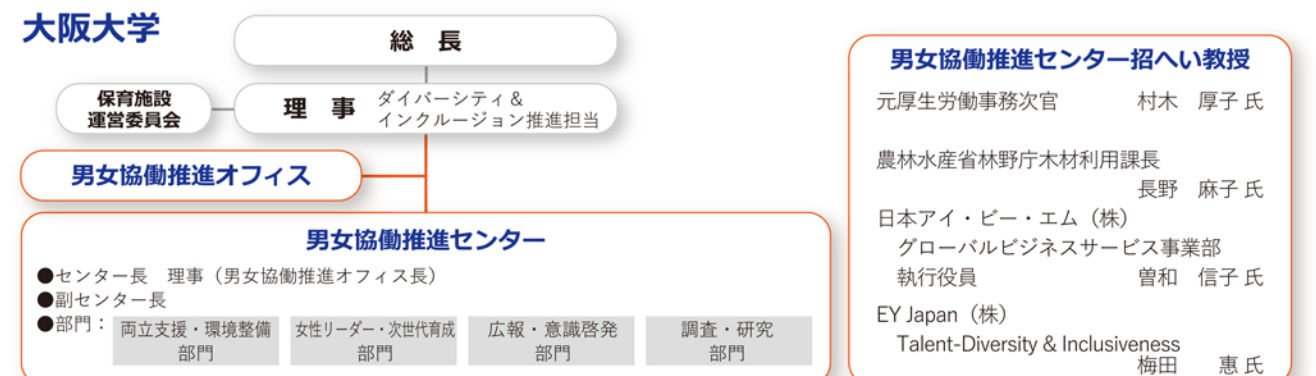
男女雇用機会均等法の施行から 30 年となる本年、女性活躍推進法が施行され、女性の活躍を求める社会の要請は一層強まっています。私たち3機関は、このような社会からの負託に応えるべく、平成 28 年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」に申請し、この度採択を受けました。一人ひとりがどのようなライフステージにあってもその個性と能力を最大限に発揮できる、自由闊達なダイバーシティを実現することは、21 世紀社会の最重要課題です。この課題を解決し、より良き未来社会の礎を築くためには、なによりもまず男女協働推進を強化しなければなりません。私たち3機関は、10 年にわたる研究教育面での連携に基づき、世界を希望に満ちた未来へと牽引するフロントランナーとして、以下の取組を推進することを宣言します。

- 一、機関内の男女間不均衡を是正し、意思決定過程への女性参画を拡大すること
- 一、優秀な女性がキャリアアップできる体制を構築すること
- 一、学修・研究・就業と家庭生活の両立支援を加速すること
- 一、意識改革、働き方改革を進め、多様な構成員がその個性を尊重される環境の実現を図ること
- 一、産学官民の協働を進め、社会の発展に寄与すること

代表機関の大阪大学が牽引する 3 機関の連携事業に
関西に基盤を置く多彩な企業・研究機関を協力機関として迎え
女性研究者の活躍促進と、地域社会に広がるダイバーシティの推進に、共に取り組んでいます



大阪大学



大阪男女協働推進連携協議会

議長：大阪大学総長 西尾 章治郎
委員：医薬基盤・健康・栄養研究所 理事長 米田 悦啓
ダイキン工業（株）代表取締役社長兼 CEO 十河 政則

大阪男女協働推進連携会議

議長：大阪大学理事・副学長 工藤 真由美
委員：医薬基盤・健康・栄養研究所 戦略企画部長 堀内 直哉
ダイキン工業（株） 執行役員 澤井 克行
ほか事業実施機関の委員 17 名、協力機関の委員 29 名（※）

大阪男女協働推進連携協議会 企画運営会議

議長：大阪大学理事・副学長 工藤 真由美
委員：医薬基盤・健康・栄養研究所 戦略企画部長 堀内 直哉
ダイキン工業（株） 執行役員 澤井 克行
ほか 16 名

大阪男女協働推進連携協議会 外部評価委員会

委員長：一般財団法人阪大微生物病研究会 理事長 山西 弘一 氏
委員：（株）メディヴァ 代表取締役 大石 佳能子 氏
サントリーホールディングス（株） 代表取締役副会長 鳥井 信吾 氏
日本司法支援センター 理事長 板東 久美子 氏
女子美術大学 客員教授／宇宙飛行士 山崎 直子 氏

アドバイザーボード

委員：独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院 名誉院長 清野 佳紀 氏
経済産業省近畿経済産業局地域経済部 次長 内海 美保 氏
公益社団法人関西経済連合会 労働政策部担当部長 梅村 その子 氏



第4回大阪男女協働推進連携会議

※2020年3月現在。最新の委員一覧は事業ホームページ
(<http://www.diver.danjo.osaka-u.ac.jp/organization/>)にて公開中。



第2回外部評価委員会



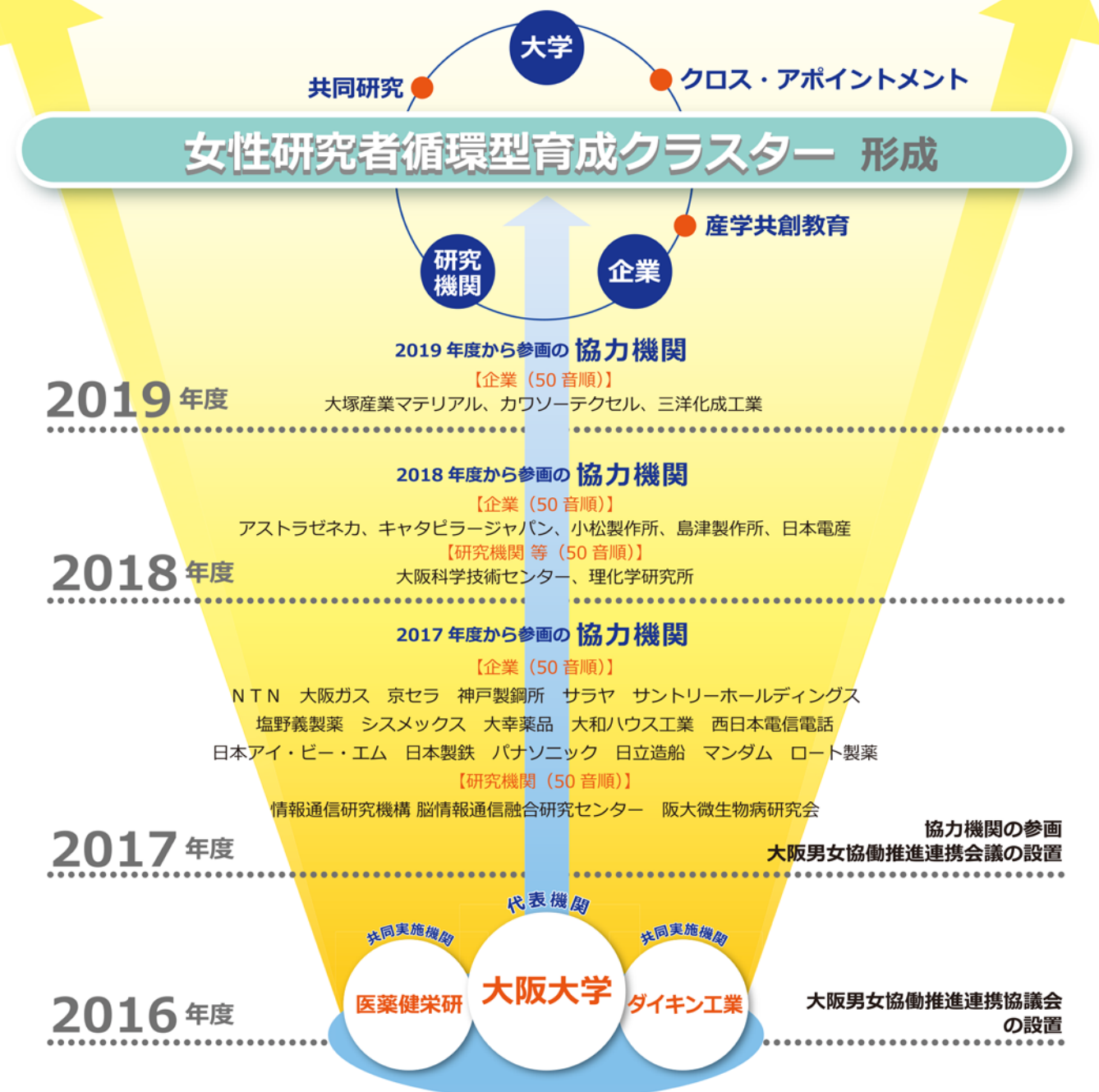
第2回アドバイザーボード

関西発！ 産学官連携を基盤とする 女性研究者循環型育成クラスターの形成と拡大

本プロジェクトによる女性研究者のリーダー育成、裾野拡大へのアプローチ

1. 女性研究者をプロジェクトリーダーとする産学共同研究の推進
2. 女性リーダーおよび次世代育成に向けた産学共同教育の展開
3. 産学官連携によるクロス・アポイントメントの積極的活用

2020年度以降 大阪大学内に共同研究講座や協働研究所を持つ企業等を中心に拡充



循環型育成 ①

産学共同研究とクロス・アポイントメントで女性研究者の成長と活躍を促進

女性研究者への研究費支援

大阪大学の女性研究者をリーダーとする 共同研究支援

大阪大学と共同実施機関である医薬基盤・健康・栄養研究所およびダイキン工業との間で開始し、2017年度からは協力機関との共同研究へと拡大。医薬系と理工系、さらに双方の融合領域においても、新たなイノベーションの可能性を感じさせる女性研究者の活躍を促進しました。



共同研究支援採択者による 研究発表会

研究課題の報告と、女性・若手研究者の活躍促進がテーマのグループ討論で、他分野・領域の研究者同士の交流を図り、女性研究者のネットワークづくりを促進。

2018年度 計 16 件

- 医薬健康研と 6 件
歯学研究科
微生物病研究所
医学系研究科附属ツインリサーチセンター
医学系研究科 (2 件)
生命機能研究科
- ダイキン工業と 4 件
連合小児発達学研究所
高等共創研究院／産業科学研究所
工学研究科 (2 件)
- シスメックスと 1 件
医学系研究科
- 日本製鉄と 1 件
工学研究科
- パナソニックと 1 件
医学系研究科保健学専攻
- ロート製薬と 2 件
工学研究科
COデザインセンター
- 理化学研究所と 1 件
生命機能研究科

2019年度 計 3 件

- ダイキン工業と 3 件
歯学研究科
高等共創研究院／産業科学研究所
工学研究科

2016年度 計 5 件

- 医薬健康研と 2 件
医学部附属病院
蛋白質研究所
- ダイキン工業と 3 件
連合小児発達学研究所
工学研究科 (2 件)

2017年度 計 16 件

- 医薬健康研と 4 件
医学系研究科附属ツインリサーチセンター
生命機能研究科
蛋白質研究所 (2 件)
- ダイキン工業と 4 件
連合小児発達学研究所
高等共創研究院／産業科学研究所
工学研究科 (2 件)
- 塩野義製薬と 2 件
医学系研究科 (2 件)
- シスメックスと 1 件
医学系研究科
- 日本製鉄と 1 件
工学研究科
- ロート製薬と 3 件
歯学研究科
医学系研究科保健学専攻
工学研究科
- 理化学研究所と 1 件
生命機能研究科

共同研究の効果を 持続～発展

女子大学院生を含む
女性研究者累計 90 名が参加

リーダーとなる経験を通して
女性研究者の研究マネジメント力が向上

研究業績とリーダーシップが評価され
上位職への登用も促進

さらに
展開

クロス・アポイントメント

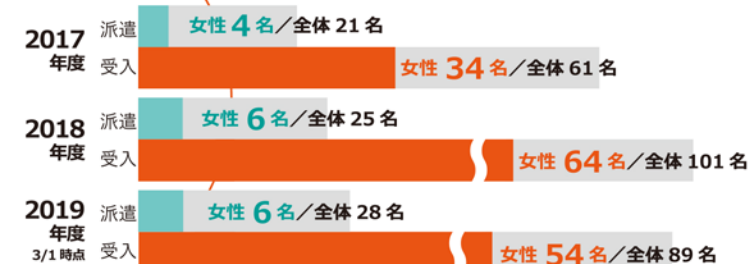
企業の協働研究所と共同研究講座・部門を基盤にして
**大阪大学は国内大学の先陣を切って、
産学クロス・アポイントメントを実施・推進**

企業の女性研究者・技術者の受入実績

- ダイキン工業** 2017年4月 工学研究科助教
2017年度日経ウーマノミクスフォーラム (R) に
パネリストとして登壇
- サントリー** 2018年2月 工学研究科教授
2018年度日経ウーマノミクスフォーラムシンポジウム (R) に
基調講演講師として登壇
- ロート製薬** 2018年4月 歯学研究科助教
- サラヤ** 2018年5月 工学研究科准教授
- マンダム** 2018年8月 薬学研究科助教
新たなスキンケア技術を確立し、商品開発に成功
- NTT西日本** 2019年7月 人間科学研究科准教授
文系分野で初めて受入

※日経ウーマノミクス・プロジェクト実行委員会 (日本経済新聞社) 主催

国内大学トップクラス！ クロス・アポイントメント派遣・受入実績数

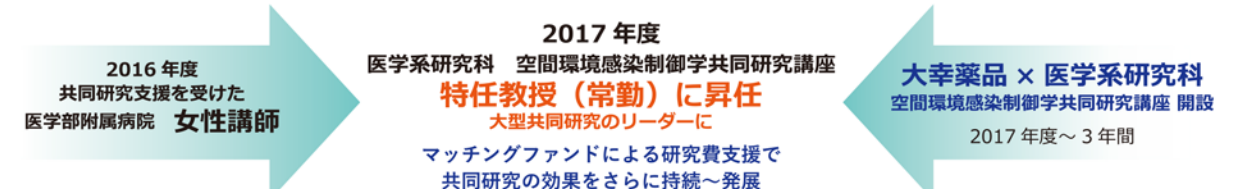


クロス・アポイントメントの
効果

- 女性研究者に
大学の研究設備の利用や、先進的研究・
大型研究への参画が可能になる。
- 共同研究の参画や非常勤講師としての出講
と比べ、大阪大学のスタッフとの密でかつ
広がりを持った関係性を構築でき、将来の
研究に活かせる。
- 女子学生に
多様な女性研究者と身近に接することで、
将来のキャリアパスをイメージできる。
- 大学の
女性の働き方や、研究環境のダイバーシティについて、
考えを深めることができる。
- 大学に
大学、企業、研究機関の枠を超え、国内外の研究者が
集うダイバーシティ研究環境が実現できる。
- 男子学生も女性リーダーに身近に接する機会が増え、
大学構成員の男女協働意識が向上する。

マッチングファンドによる共同研究支援

阪大女性研究者育成型マッチングファンド（産学共同研究）新設 女性リーダーによる共同研究を産学連携で持続的にバックアップ



包括連携契約における女性研究者育成

ダイキン工業との包括連携契約

- 4つの連携プログラムにおいて
女性研究者育成を展開
- ①共同研究・委受託研究
②先導研究プログラム
③学生研究員プログラム
④AI人材育成プログラム

女性研究代表者による〈共同研究〉: 3 件
女性をチームに含む〈共同研究〉: 8 件
女性をチームに含む〈委託研究〉: 1 件
〈学生研究員プログラム〉での
研究人材育成: 女子大学院生 4 名採用

シスメックスとの包括連携契約

ヘルスケア分野における新たなイノベーション創出に向け、
共同研究プログラムや学生研究員プログラムなどを実施

〈学生研究員プログラム〉での
研究人材育成: 女子大学院生 1 名採用

自然科学系基礎的分野の研究に対する助成事業

公益財団法人木下記念事業団から支援を受けて、
女性教員を対象に自然科学系基礎的分野の研究に対する助成事業を実施。
共同研究以外にも女性研究者の研究力向上の取組を展開しています。

2019年度 計 4 件

- 高等共創研究院／医学系研究科
レーザー科学研究所
医学系研究科
産業科学研究所

循環型育成 ②

産学共創教育

女子学生と企業の社員が同じ「学び場」で受講する
さらなる女性活躍推進へ、大学と企業が共同で実施する新たな教育プログラム

大阪大学とダイキン工業は産学共創によるさらなる女性活躍推進をめざす2つの教育プログラムを2019年度より開始しました。
これらのプログラムは、女性のキャリアやスキルアップに向けて、大学と企業が共同で実施する教育プログラムの先駆けとなる事例であり、今後は協力機関にも対象を広げ、学生と企業の社員がともに学べる場を拡充します。

大学と企業が共同で実施する新たな教育プログラム
＜ダイキン工業の支援による＞

2020年度より
協力機関の企業も参画へ
＜参画する協力機関も支援＞

女性エンジニアリーダー育成プログラム

大阪大学の工学研究科の正規授業科目とし、女子大学院生と企業の若手女性エンジニアが同じ教育プログラムを受講するプログラム。

『インクルーシブ・リーダーシップ』を新設開講

インクルーシブなリーダー育成に主眼を置き、受講者が将来リーダーとして活躍できるよう自らの意識と行動を変えるきっかけ作り。



リーダーシップ論や様々な視点から、講義だけでなく、ディスカッションやプレゼンテーションを通して、変化の時代に対応するスキルや知識を提供します。

「リーダーシップとは」「リーダーシップ・エクササイズⅠ・Ⅱ（グループアクティビティ、フォロー）」「受講者によるプレゼンテーション」
「フューチャー・デザイン学Ⅰ・Ⅱ」
「イノベーション・知識創造経営」
「チームワークの社会心理学」
「イノベーションと技術経営」
「オープンイノベーションで切り拓く新事業創造」

株式会社カレイディスト代表取締役社長 塚原 月子
大阪大学工学研究科教授 原 圭史郎
立教大学経営学研究科准教授 西原 文乃
大阪大学人間科学研究科教授 三浦 麻子
大阪大学経済学研究科教授 延岡 健太郎
Japan Innovation Network 常務理事、
大阪大学工学研究科客員教授 松本 毅

育休中キャリアアップ支援プログラム

大阪大学の人間科学部および工学研究科（ビジネスエンジニアリング専攻）の授業科目の中から、自らのキャリアアップに資する科目を選択し受講することで、育児休業復帰後のキャリアへの効果を期待できるプログラム。

＜参考＞育休中キャリアアップ支援プログラム授業科目（例）

- 人間科学部
メディアと社会、基礎心理学、知覚・認知心理学、応用認知心理学、知覚・認知心理学、社会・集団・家族心理学、環境評価論、科学哲学、生物人類学、共生社会論、現代社会学、行動生理学、文明動態学、コミュニケーション社会学 等
- 工学研究科
工学英語、プロジェクト企画論、知能社会論、テクノロジーデザイン論、社会空間デザイン論、材料創成論、組織管理、機能創成デザイン論、イノベーションデザイン実践 等



受講者は大阪大学の一時預かり保育室に預けて受講することができます。

産学連携で中高生からリーダーまでシームレスに育成

女子大学院生と女子学生へ
研究力向上と博士後期課程への進学後押し第5回大阪男女協働推進連携会議
女子大学院生と企業等との交流会
2019年11月13日

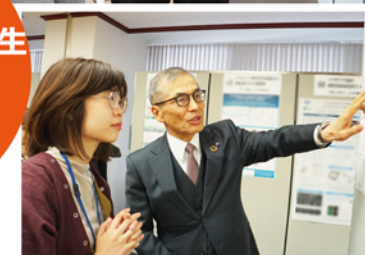
女子大学院生の育成と研究力向上、さらには博士後期課程への進学後押しを目的に、研究科長が推薦する女子大学院生とダイキン工業と協力機関の企業等との交流会を開催。女子大学院生の研究ポスター発表や企業等の事業説明などを通して、近い距離で質疑応答や交流が行われました。

【参加企業等】（順不同）

ダイキン工業、アストラゼナカ、NTN、大阪ガス、キャタピラージャパン、神戸製鋼所、小松製作所、サラヤ、塩野義製薬、シスメックス、大和ハウス工業、西日本電信電話、日本アイ・ビー・エム、日本製鉄、日本電産、パナソニック、日立造船、情報通信研究機構情報通信融合研究センター、阪大微生物病研究会、三洋化成工業



参加女子大学院生
6研究科より
103名



裾野拡大

女子中高生と保護者・教諭へ
理系女性のロールモデルを提示

ダイキン工業と協力機関、そして大阪大学の女性教員や女子大学院生が参画し開催。全国から集まった理系進路に興味を持つ女子中高生や保護者の方々に、大学や企業の女性研究者・技術者との交流や、実験デモンストレーション、進路相談など多彩なコンテンツを通して、理系の魅力と可能性を紹介。

全国の理系女子中高生のための
ハンダイ理女フェス!!

2018年9月9日
参加者 557名
（中高生355名、保護者・教諭等202名）

【2018年度参加企業】（順不同）

ダイキン工業、NTN、大阪科学技術センター、大阪ガス、キャタピラージャパン、神戸製鋼所、島津製作所、大和ハウス工業、西日本電信電話、日本アイ・ビー・エム、日本製鉄、パナソニック、日立造船、ロート製薬、朝日新聞社

理系進学を考えているあなたへ
のぞいてみよう！理系女子の「いま」
—SciTech Girls in Handai—

2017年6月3日
参加者 248名
（中高生181名、保護者・教諭等67名）

【2017年度参加企業】（順不同）

ダイキン工業、大阪ガス、西日本電信電話、日本製鉄、パナソニック、日立造船



「大阪大学女子大学院生優秀研究賞」の創設

自然科学系研究科に所属し、優れた研究成果を挙げた女子大学院生を表彰。寄付事業の一環として実施し、11名が受賞。

先端教養科目「女性リーダーとの対話」を開講

次世代の男女協働意識形成に関西サイエンス・フォーラムの協力のもと関西の活躍する女性たちを各回の講師に迎え、全学共通の教養科目として開講。

【協力機関からの登壇事例】

ダイキン工業 池田 久美子氏（人事本部ダイバーシティ推進グループ女性活躍推進担当部長）
アストラゼナカ 山岸 景子氏（財務本部総務部長）
パナソニック 小川 理子氏（テクニクスブランド事業担当執行役員）

※登壇者の所属・職名はすべて開催当時のものです。

シンポジウム

大阪大学シンポジウム 共創の好循環へ ー女性が輝く関西をめざして

産学官共創で挑む取組に大きな期待が寄せられた、
キックオフシンポジウム。

407名
参加

2017年
2月20日

【講演】 村木 厚子氏 大阪大学男女協働推進センター招へい教授
村尾 和俊氏 西日本電信電話株式会社代表取締役社長
【パネルディスカッション】
村尾 和俊氏、村木 厚子氏、
米田 悦啓、澤井 克行、西尾 章治郎
(コーディネータ) 工藤 真由美 大阪大学理事・副学長、男女協働推進センター長



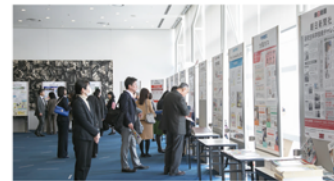
大阪大学シンポジウム ダイバーシティが拓く、関西の未来

女性研究者循環型育成クラスターに参画する企業、研究機関や、
関西の協力大学・自治体が集結。特設パネル展示でも各機関の取組を紹介。

【基調講演】 鳥井 信吾氏 サントリーホールディングス株式会社代表取締役副会長
福地 敏行氏 日本アイ・ビー・エム株式会社取締役専務執行役員
西尾 章治郎 大阪大学総長
【パネルディスカッション】
澤田 拓子氏 塩野義製薬株式会社取締役上席執行役員経営戦略本部長
町田 智子氏 株式会社朝日新聞社取締役東京本社代表
CSR／教育事業／女性プロジェクト担当
中尾 類氏 パナソニック株式会社イノベーション推進部門人事総括／
全社 CTO 室技術人材戦略部部長
(コメンテータ) 鳥井 信吾氏、福地 敏行氏、西尾 章治郎
(コーディネータ) 工藤 真由美 大阪大学理事・副学長、男女協働推進センター長

424名
参加

2018年
2月5日



セミナー



2019年
7月2日

講演（第4回大阪男女協働推進連携会議内） 経営戦略としてのダイバーシティ＆インクルージョン

【講師】 塚原 月子氏
株式会社カレイディスト代表取締役社長

2019年度第1回セミナー 日本の潜在力ー武器としての人口減社会ー

【講師】 村上 由美子氏
経済協力開発機構（OECD）東京センター長

2019年
9月5日



2019年度第2回セミナー ダイバーシティを育む組織文化とリーダーシップ

【講師】 日色 保氏
日本マクドナルド株式会社代表取締役社長兼 CEO

2019年
12月19日



※登壇者の所属・職名はすべて開催当時のものです。

ダイバーシティ環境整備

〈大阪大学〉

- 吹田・豊中キャンパスの3つの学内保育園（保育定員 計 185 名）と吹田キャンパスの病児・病後児保育室（最大定員3名）を備え、充実した機関内保育を実施
- 吹田キャンパス共創イノベーション棟に「男女協働推進センター コラボレーティブ・スペース」を設置
- 3キャンパス全てに設置した一時預かり保育室におけるベビーシッター利用補助
- 研究支援員制度（長期）および短期教育研究支援制度による育児・介護等の両立支援
- 産休・育休取得期間中にも研究支援員を配置する研究支援員制度（復帰支援型）を開始
- 男性の育児休業取得促進のため、出産予定者への登録制情報配信サービス「新たにパパ・ママになる皆さんへ」を開始
- テレワークを2018年10月から本格実施

男女協働推進センター コラボレーティブ・スペース

ー一時預かり保育室として：
全キャンパスに設置完了し、利用件数も急増

授乳室、妊産婦のための休憩室として：
電動搾乳機の貸出も受付

女性研究者、女子学生のための
コミュニティスペースとして：
ランチミーティングやセミナーなどの利用に供することで、
女性研究者ネットワークの形成・活性化を促進



麻の葉模様に見守られて ダイバーシティの意識を育む

麻の葉は子どもの健やかな成長を願う日本古来の文様。
そのモチーフをあしらったスペースから、男女協働の意識が
広く大きく伸展することを願っています。

産学共創による学生のための環境整備事業

これまでのダイバーシティ推進のための取組から、
学生のための環境整備へ発展しました。

- 「ハンダイ理女フェス!!」からの機縁により、協力機関であるパナソニック株式会社からのパウダールーム等寄贈
- 「女性リーダーとの対話」からの機縁により、フジモトゆめグループからの学生ラウンジ整備



学生の声を取り入れたパウダールーム。
コミュニケーションスペースとしても活用できる。



「ジャングル＆プリンセス」のイメージを
取り込んだアートな空間を演出する
学生ラウンジ。

〈医薬基盤・健康・栄養研究所〉

- 有給休暇の取得促進
- テレビ会議システムの活用
- ダイバーシティ研究環境整備のためのセミナー
「マインドフルネス研修」、「デザイン思考ワークショップ」を実施



「マインドフルネス研修」(左)と「デザイン思考ワークショップ」の様子。

〈ダイキン工業〉

- 在宅勤務、時差勤務、フレックス勤務制度や保育者の自宅派遣サービス、外部サービス利用補助
- 個人別有給休暇連続取得の取組を推進
- 妊娠中の女性社員対象の「保活＆育休サポートセミナー」、育児休業から復職した女性社員とその上司を対象とした「育児休業復帰者セミナー」と「仕事と育児両立支援制度の説明会」「女性社員によるミニ講演会」を開催
- 男性の育児休業取得を促進（子どもの生まれた男性社員とその上司を対象に）

2018年度
男性社員の育児取得率
74.5%

参考：男性育児休業取得率 6.16%（厚生労働省平成 30 年度雇用均等基本調査より）

Empowerment of women changes society

挑戦する女性の力が社会を変える

大阪大学未来基金 女性活躍 支援事業

大阪大学の女性研究者・女子学生の
研究環境の整備や
女子中高生への教育活動に
皆様のご支援をお願いいたします。

基金活用 プラン

- ◆女子学生・女子大学院生の修学支援
- ◆研究助成や顕彰等による女子大学院生・女性研究者の研究支援
- ◆女性教職員のキャリア支援および修学・研究・職場環境の整備
- ◆次世代の研究者を目指す女子中高生への教育活動 など

ご寄付の 単位

1口 5,000 円

- ★趣旨をご理解いただき、複数口でご協力いただけますと幸いです。
- ★毎月または毎年度に定額を寄付するご支援方法もあります。
(詳細はお問い合わせください)

ご寄付の 方法

クレジットカード、銀行振込
またはコンビニ払いにてご寄付いただけます。

- ① www.miraikikin.osaka-u.ac.jp
または 大阪大学未来基金 で検索
- ② トップページ左上の
「プロジェクト一覧」をクリック
- ③ ページ最下「その他のプロジェクト」にある
「女性活躍支援事業」をクリック
- ④ ページ最下の
「ご寄付はこちら」をクリック
- ⑤ ご希望の寄付方法別の「お申込はこちら」
から、申込フォームに記入し送信

資料請求
お問い合わせ

大阪大学 未来基金事務局（共創機構内） 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2 - 8
TEL : 06-6879-8327 FAX : 06-6879-4337 E-mail : kikin@office.osaka-u.ac.jp